

「スポーツの力は国境を越える。」私は今回の大会でこの言葉を実際に感じました。このような貴重な経験をさせていただいたことに対して感謝の気持ちでいっぱいです。今回の事業に関わり尽力いただいた板橋区の方々はもちろん、石景山区を初め歓迎してくださった中国の方々に感謝申し上げます。

私自身ここ板橋区で卓球を始め、20年以上が経ちますが、日本人以外の方々と卓球に関わったのはこれが初めてです。中国に行くまでは卓球を通して本当に交流できるのか半信半疑でした。言葉が通じなければチームを組んでも表面的な交流しかできないのではないかと思ったからです。しかし、その不安は杞憂でした。板橋区の生徒と石景山区の生徒が混合ダブルスで点を取って共に喜ぶ姿。板橋区の生徒が中国選手から1セットを取ってベンチに戻ってきた時に生徒同士ハイタッチをする姿。様々な場面で心の通い合った交流を目の当たりにしました。

また今回、石景山区の方々からたくさんの温かい気持ちを感じ取ることができました。石景山区とチームを組むことができ本当に良かったです。例えば、公式練習の後にホテルの卓球場でも一緒に練習をしたり、空き時間に中国語や日本語を教え合ったりと、互いに切磋琢磨しながら仲良く楽しく交流する姿が見られました。特に印象に残っているのは、中国のコーチが試合で2年の竹内に掛けた一言です。アドバイスは基本的に自分の生徒にしかしません。ただ、そのときは竹内が緊張して硬くなっていました。そこで中国のコーチは「More smile and more exciting . You can do it !」と声を掛けてくれたのです。「あなたならできるわよ。」生徒を信頼し自信をもたせる一言に私自身とても勉強になりました。スポーツの交流にはルールと環境、そしてお互いを理解しようとする気持ちが大切なのだと感じました。石景山区の生徒を初め、コーチや役所の方々が大いに歓迎してくださり本当に有意義な時間を過ごすことができました。

私は今回このような経験をさせていただいたことを多くの人達に伝えていく使命を感じています。学校の生徒や卓球の仲間、板橋区に住む家族などに伝えていく中で、微力ながら日中相互の理解に貢献していきたいと思います。



中国のコーチとレセプションにて